

An aerial photograph of the Izumo region in Japan, showing a mix of green forests, brownish hills, and blue water bodies. The text is overlaid on this image.

交感 出雲

~FEEL IZUMO~

出雲圏(中海・宍道湖圏) 広域ビジョンの研究

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻

国際都市計画・地域計画研究室

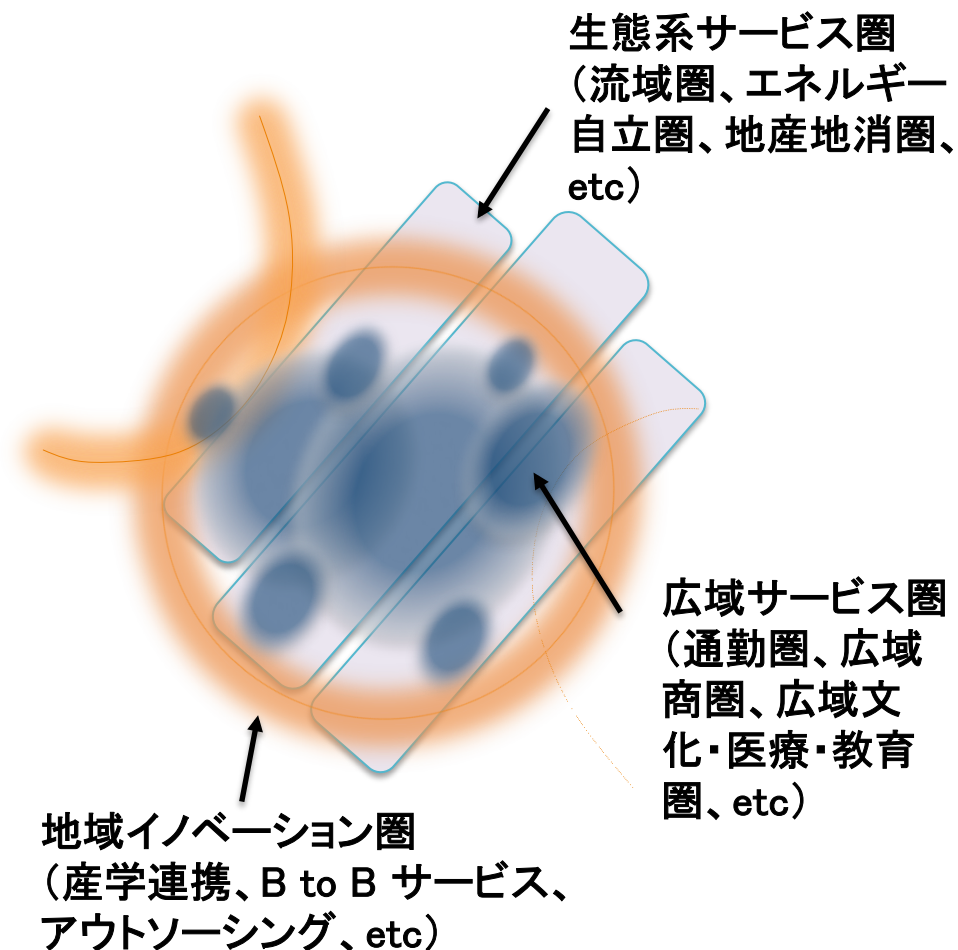
城所・片山・李・伊藤・小野・久保・隅田・田丸

目次

1. 自立地域圏の重層的ネットワークによる国土空間構造の構築
2. 出雲圏文化の固有性
3. ビジョン
4. Creative Village構想
 - Creative Village構想実現のサイクル
 - Izumo Lifestyle Incubation (ILC)
 - Yonago Museum of Film and Photography (YMOFP)
Matsue Museum of Crafts and Calligraphy (MMOCC)
5. 出雲ライフスタイル・シナリオ
6. 現状分析編
 - 生態系サービス圏
 - 広域サービス圏
 - 地域イノベーション圏
 - 歴史・文化資源

1. 自立地域圏の重層的ネットワークによる 国土空間構造の構築

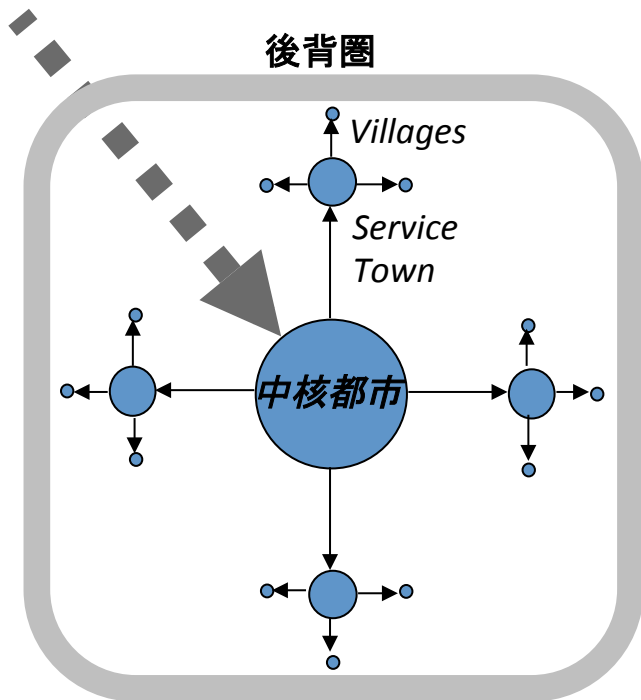
- 自立地域圏の重層的ネットワークから成り立つ国土空間構造
- 自立地域圏を構成する3つの多層的な空間
 - ✓ 広域サービス圏
 - ✓ 生態系サービス圏
 - ✓ 地域イノベーション圏



自立地域圏の空間コンセプト

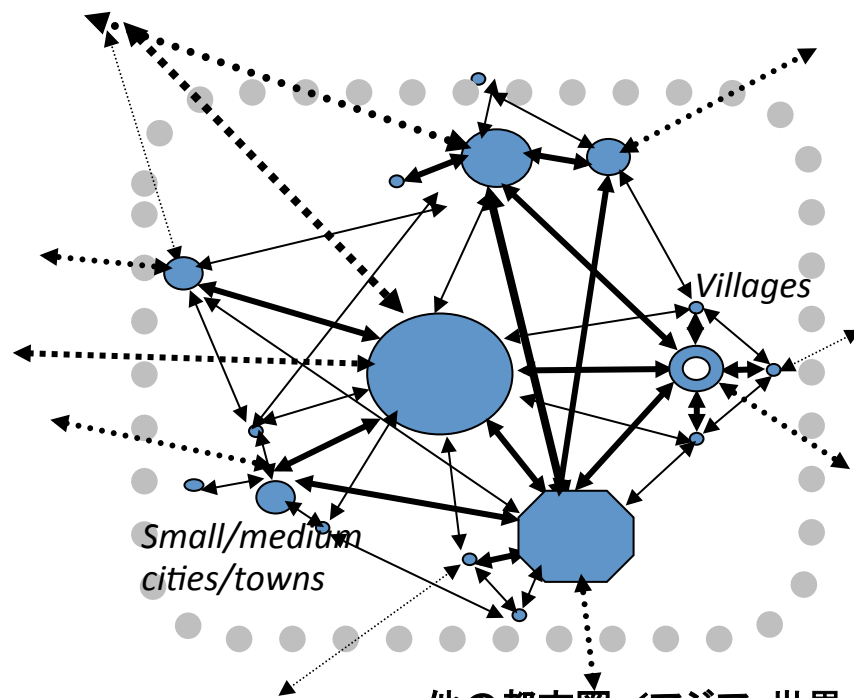
都市・農山漁村間関係のあり方の見直し

大都市／世界



垂直的中心地モデル

他の都市圏／アジア・世界

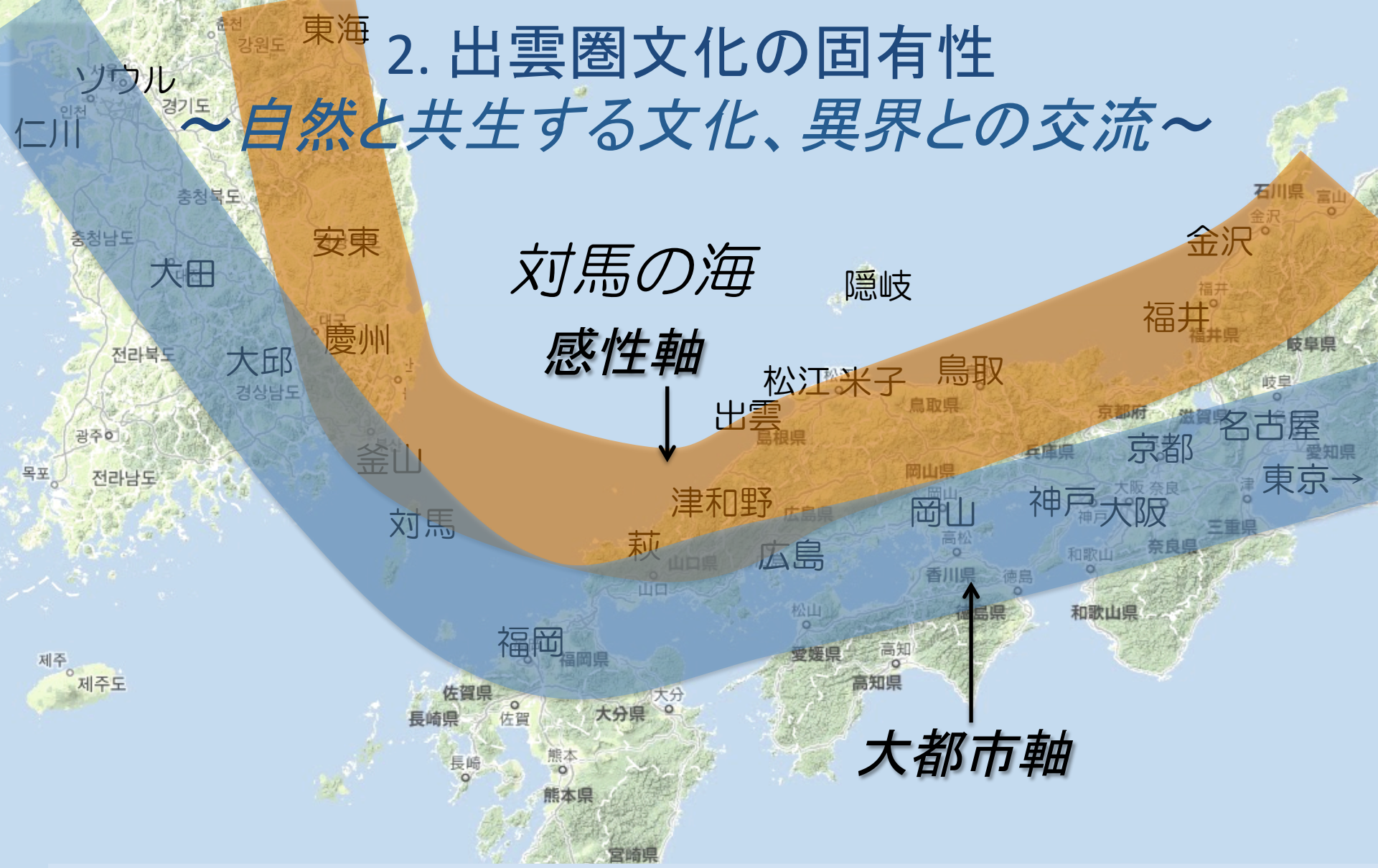


他の都市圏／アジア・世界

ネットワークモデル

2. 出雲圏文化の固有性

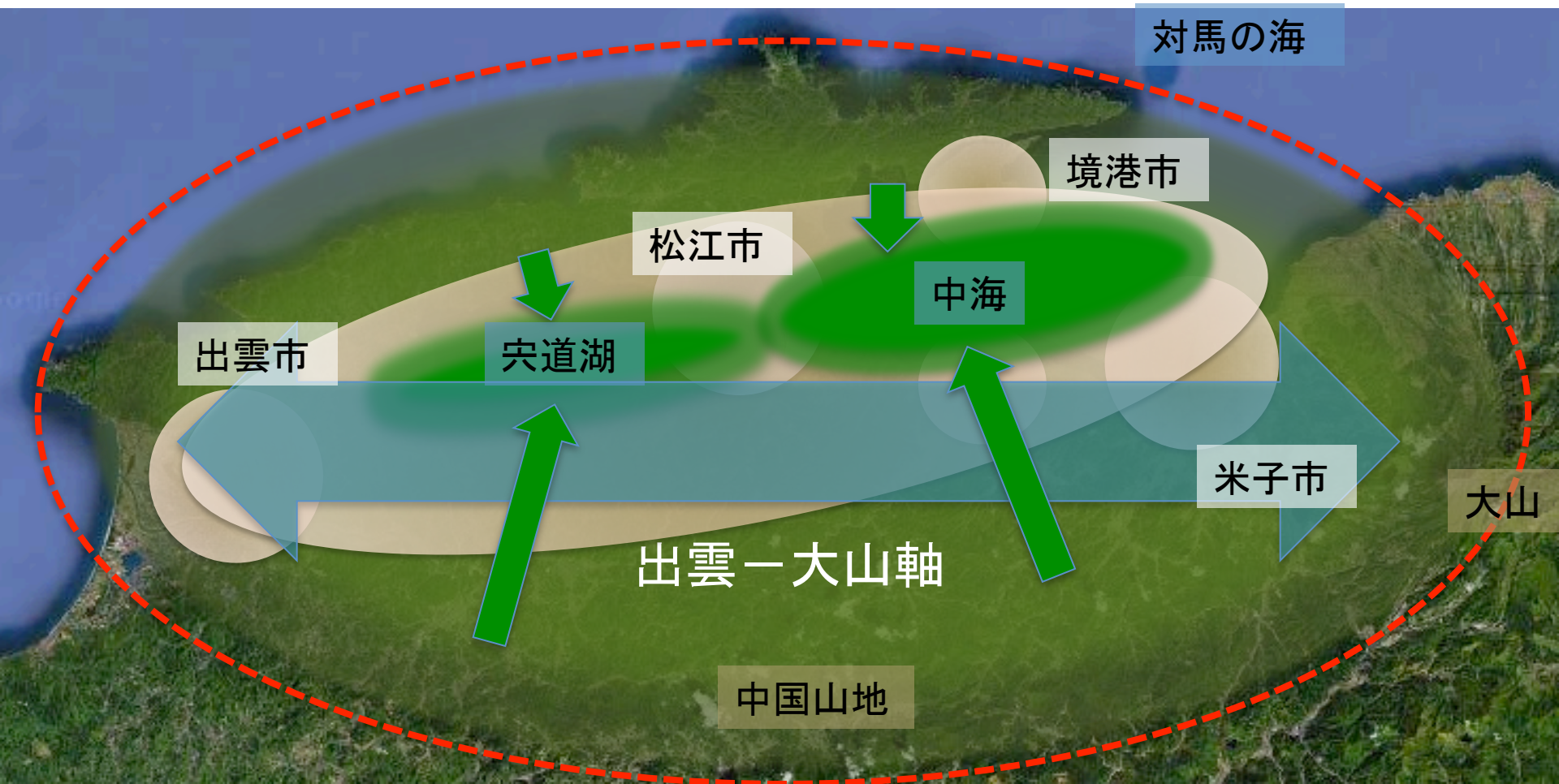
～自然と共生する文化、異界との交流～



対馬の海・感性軸
自然、歴史、文化の魅力あふれる中小都市、農山漁村のつながり

出雲広域都市圏(中海・宍道湖圏)

都市と自然のマイクロコスモス



人口:約60万人

面積:1783.17km²

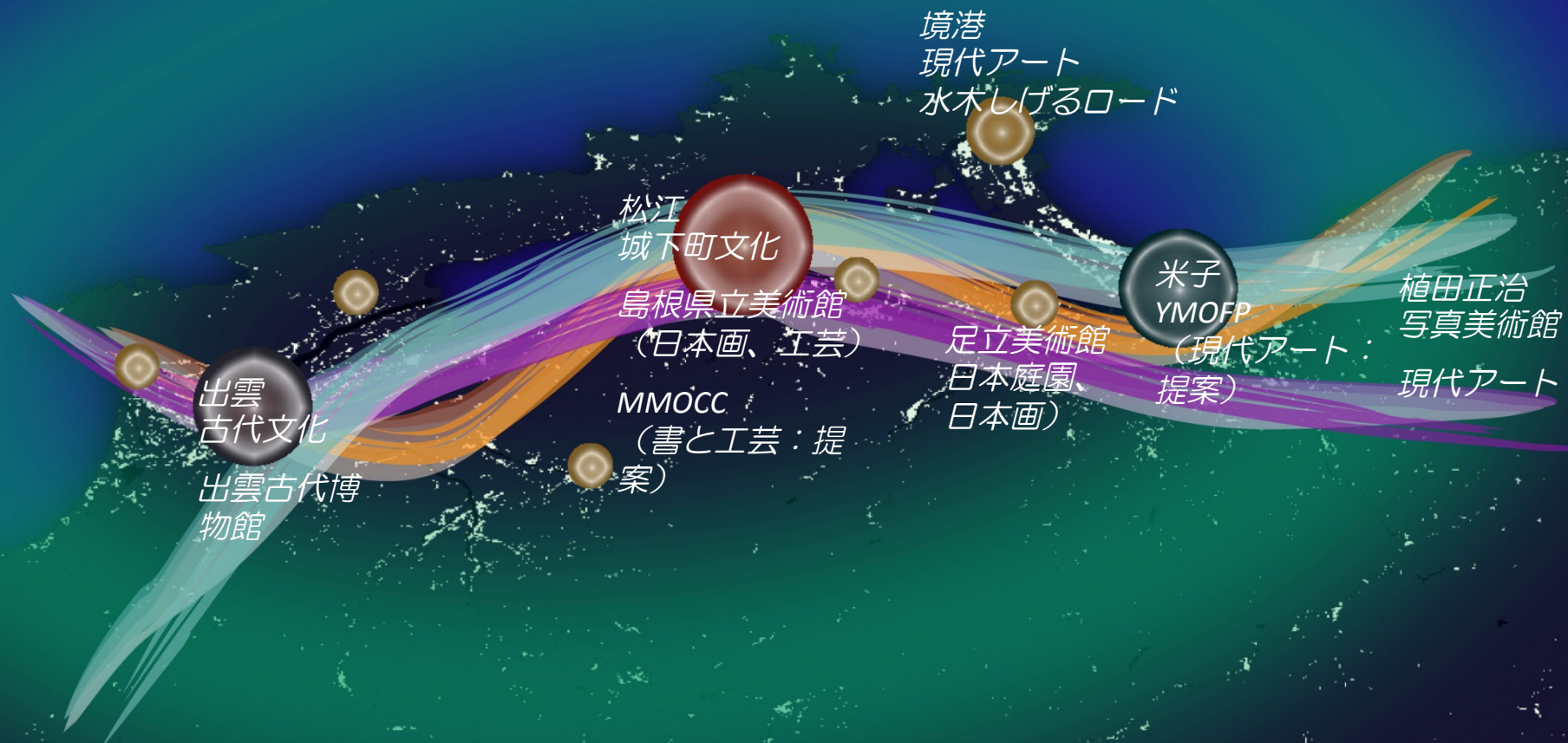
高齢化率:21.8%~30.3%(cf.全国平均=22.1%)

一体として捉えることができる圏域

3. ビジョン

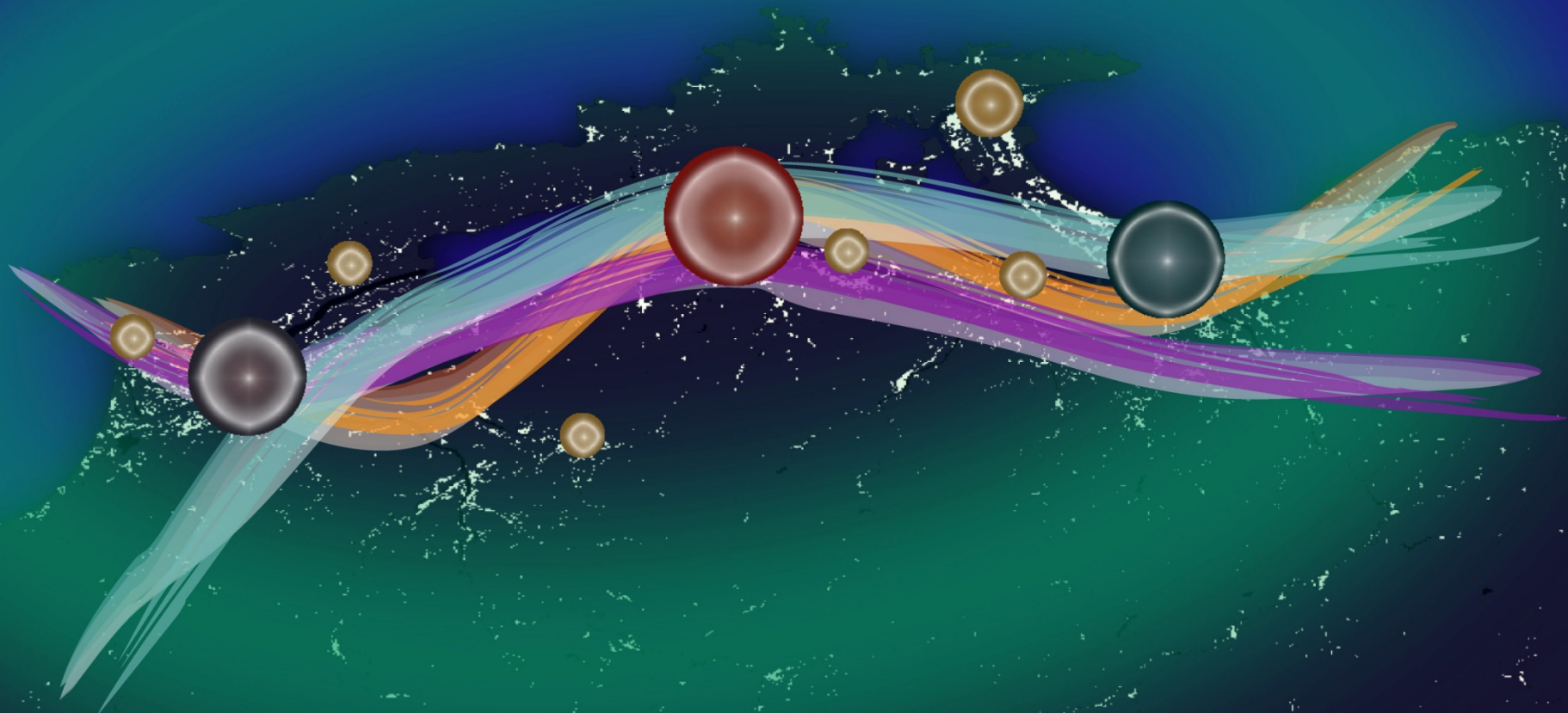
- 「雇用先がないので人が定着しない」という固定観念からの脱却
 - 従来型の産業の誘致ではなく、ひとを惹きつけるための地域政策
 - 住む人、移住する人のcreativeな感性、活動を生かし、起業を支援することで仕事をおこす。
- 出雲ライフスタイルの提案
 - 感性が揺さぶられる独特の風土性
 - ✓ 異界との境界性、歴史、神話に彩られた独特の風土
 - ✓ 都市のなかに自然(中海・宍道湖)がある固有のランドスケープ
 - 多様な人が交感することで新しいものが生み出される空間へ
- 新しいライフスタイルを実現するための地域づくり

交感 出雲 ～FEEL IZUMO～



- ”交感”する新しいライフスタイルを提案
- 各都市の特色を活かしながらも、出雲圏一体として魅力を育成・発信

CREATIVE VILALGE 構想



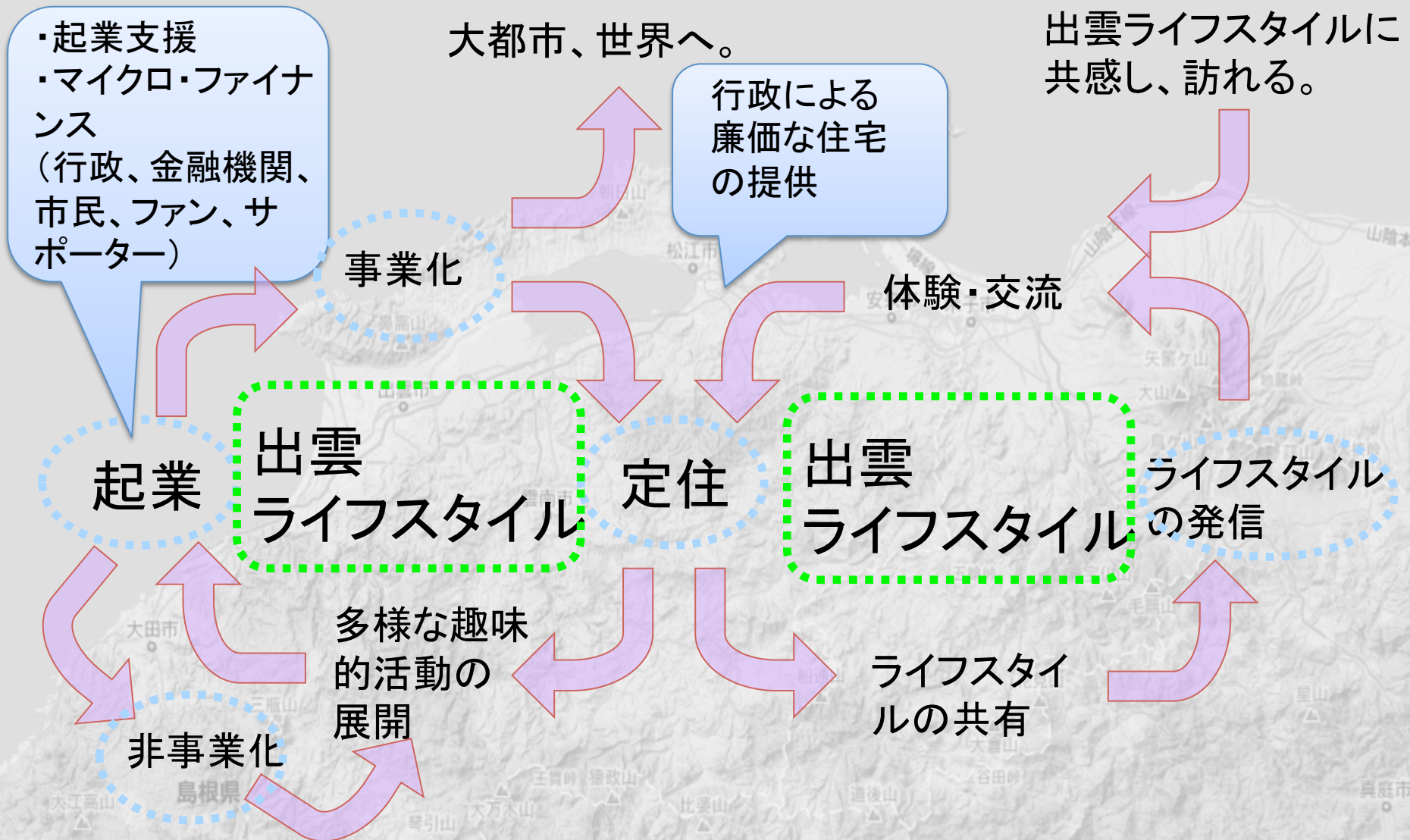
- 出雲圏を *creative* な感性を発揮する交感の場とする。

4. CREATIVE VILLAGE 構想

- 出雲圏に住む人、訪れる人の感性の**交感の場**をつくる。
 - 感性を刺激する独特な風土を生かす
 - 独特な自然、伝統文化、生活文化、アートの実験を通じて、ひとりひとりがcreativeな感性を刺激される
 - まちなかミュージアムの提案(米子、松江)
 - Yonago Museum of Film & Photography (YMOPF)
 - Matsue Museum of Crafts & Calligraphy (MMOCC)
 - 宿坊泊、農家泊、アート村(アーティストが集まる村)泊の提案(寺社、農山漁村集落)
 - 伝統芸能の実験・共有
 - たとえば、安来節を阿波踊りのようにまちなかを市民が踊り、練り歩くような、本来の大地の力を感じさせる参加型パフォーマンス・アートとして発展させることにより、内外の多くの人の共感をえられるのではないか。
 - 神楽、神事を観る(場合によっては演ずる)ことによる価値感の共有
- 出雲ライフスタイルに共感したひとが定住するために**廉価な住宅**を行政が提供する。
- **起業のしやすい環境**を生み出す。
 - Izumo Lifestyle Incubation (ILC)(提案)

Creative Village 構想実現のサイクル

～Creative Village Cycle～



多様な趣味的活動→起業→...

- 出雲ライフスタイルに共感した人々が、趣味的活動を行い、それを事業化する。
- 事業に成功すると、その人は地域に根付く可能性が高まる
- 時に事業は失敗するかもしれないが、再び趣味的活動に帰り、それを事業化することができる

⇒内側から沸き出る地域イノベーションを巻き起こす。

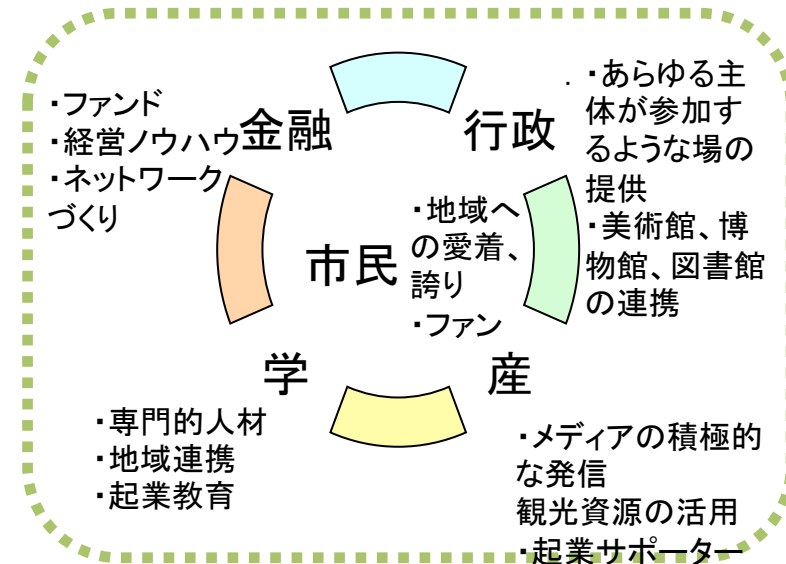
起業(多様な趣味的活動→事業化)のために 気軽に起業しやすい環境をつくる。

1. 多様な起業形態を提案する;たとえば、
 - 週末起業
 - Ex.子育てしながらパートのアルバイトをしている女性が、空いた時間を利用して趣味の工芸をネットで販売)
 - 日替わり起業
 - Ex.農村の女性グループで日がわりで、観光客向けの郷土料理を生かしたレストランを経営
2. 多様な起業体験メニューを提供する;たとえば、)
 - 起業教育(体験的なミニ起業の経営)
 - 起業ツーリズム(体験的なミニ起業を経営するセミナーをツーリズムとして提供する)
3. 多様な資金の提供
 - 商工会議所や支援センターによる融資制度や助成ファンドは既に存在する。
 - マイクロ・ファイナンスの仕組みを導入できないか。
 - 市民や、サポーター企業、応援する人(ファン)が、インターネットなどを利用して少しずつ資金を提供するファンド(出雲マイクロファンド)をつくる
 - 出雲ファンドへの出資を通じて、成功企業が新規企業を育てる風土に

Izumo Lifestyle Incubation (ILC)

「もっとも起業しやすい地域」というブランドをつくり、
人を惹きつける

- 出雲圏の産・学・行政・金融・市民の連携による**起業支援組織**
- 事業イメージ
 - 出雲ライフスタイルにあう活動の認定と認定された活動に対する起業支援
 - マイクロファイナンスの運営
 - 市民、サポーター企業、ファンが、インターネットを利用し、少しずつ広く投資する**出雲マイクロファンド**の創設
 - 起業情報の発信
 - 地元メディア、美術館、博物館、図書館との連携
 - 起業教育の支援
 - 小中高、高専、大学との連携
 - 起業ツーリズムの運営
 - 出雲の独特な感性を体験しつつ、起業ノウハウや、起業体験、ネットワークづくりを行え、全く新しい知的観光の開拓



金融

地元住民

・活力創出(若年層増加・出生率改善・雇用創出)

・活動支援(資金提供)

・活動支援(場所提供)

・商品や作品の購入

・お金を消費
・気に入ったら定住

・体験型観光(農泊など)の提供

出雲ライフスタイルに
共感する移住者

・商品や作品を認め
てもらうチャンス

・体験型観光の提供(アート体験・起業体験)
・商品や作品の購入

観光で
訪れる
人

行政

YMOFP

Yonago Museum of Film and Photography

MMOCC

Matsue Museum of Crafts and Calligraphy

この地域にあるオリジナルな感性という強み

- アートを創る
- 気づく
(インスピレーション)
- 再発見をする

アートを
創る

- アートを体験する
見る・感じる・触れる...
- 空間を創る・変える

アートを
育てる

アートを
体験

- イベント参加
- アートへ投票
- 市民参加
- スクール

YMOFP Plan

Yonagoアパート
(行政による廉価な住宅の提供)

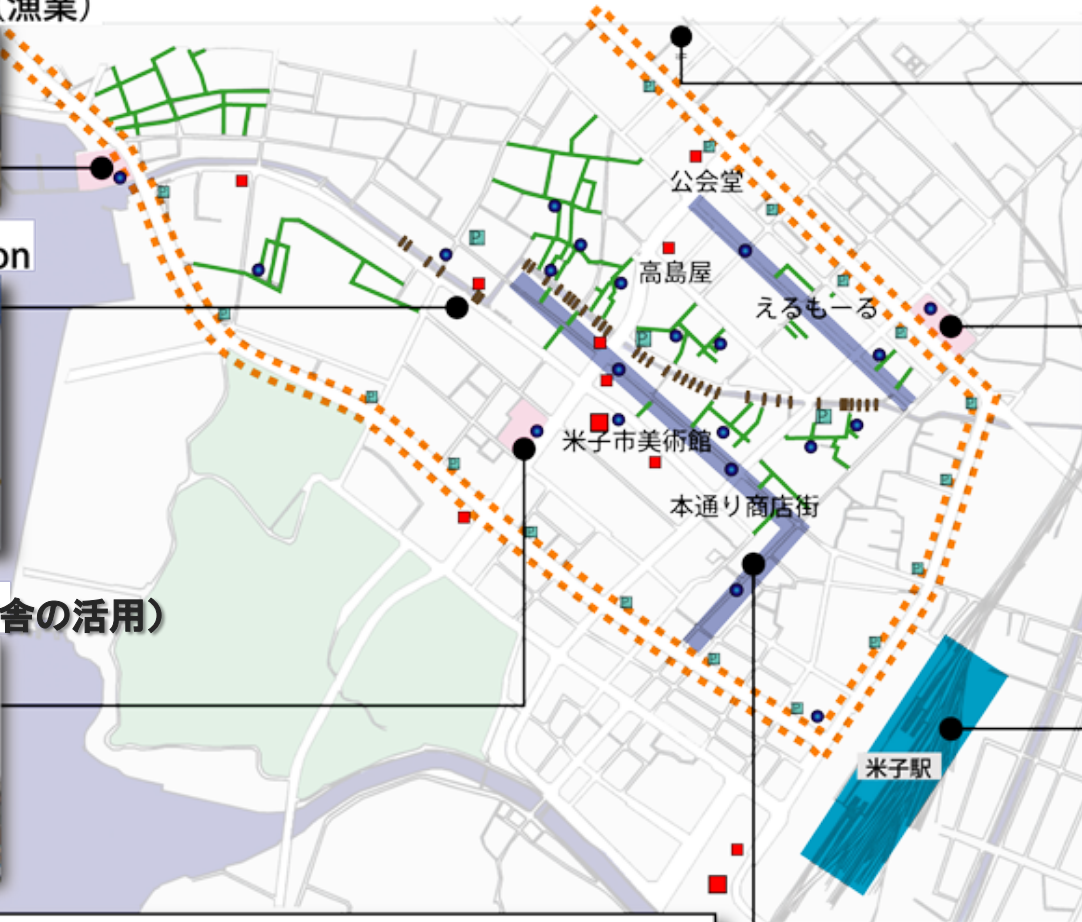
Art・Ivent 活動拠点 (漁業)



私設橋 ART・Exhibition



YMOFPセンター(旧市庁舎の活用)



Film 拠点 (倉群)



Udberground・Base



Path・Rabilinth



- | | |
|-----------------------|------------------|
| アート拠点・グッズ・レストラン | 自転車専用レーン (計画予定地) |
| 駐車場・駐輪場 (Park & Ride) | 私設橋 |
| 駐輪場 | 路地空間 |
| 既存施設 (米子市美術館など) | ARポイント |

MMOCC PLAN

伝統芸術エリア

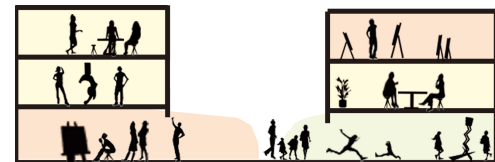
- ・伝統工芸・芸能などを育成・体験

MMOCC センター(松江歴史館を活用)

- ・作品展示、アートを体験できる場
- ・起業相談、起業観光の場

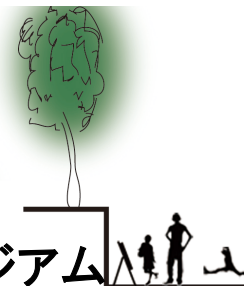
クリエイティブ・ラボ

- ・創作活動を行う人、起業する人にスペースを安く貸す。
- ・代わりに、学校での教育等、地域貢献をする。
- ・子どもや学生が集まる場をつくる。



ストリート・コラボ・スペース

- ・商店街の空き店舗を創作活動、作品展示、起業のために安く貸す。
- ・人々が集まって刺激し合う場をつくる
- ・ストリートお茶会



ウォーター・ミュージアム

- 水辺空間で創作活動、作品展示、イベント開催

Matsue アパート

- ・まちなかの空き店舗、空き家などを利用し、出雲圏に住みたい人の廉価な住宅が行政により提供される



5. 出雲ライフスタイル・シナリオ



ふらっと来て起業

- 半年前 大阪の漫画専門学校を卒業したものの、芽が出ず燻っている。
お金もなく、両親とも気まずい状態が続いている。
- 3か月前 ふらっと旅行でやって来る。
豊かな自然・文化、独特な感性に触れながらさまざま分野のアーティストが自由気ままに創作活動をしているのを目の当たりにし、大いに刺激を受ける。
- 1年目 なんとなく居心地がよくてそのまま居着いてしまう。
お金は無いが、行政の提供する廉価な住宅に住むので生活費はアルバイトでまかなえる。同じような思いを持った仲間との交流。
- 2年目 商店街の企画するストリート・コラボ・スペースでの作品の展示。多くの地元住民や観光客に自分の作品を見もらう機会が増える。一部でファンもつき、作品の販売もできるようになる。
- 3年目 作品制作をつづけると同時に、ILCの出雲ファンドを利用して若手作家の工芸品の企画販売会社を立ち上げる。市民農園で自ら育て、収穫した新鮮野菜は健康でおいしい。



⇒サイクルの継続・ブランド力の向上

起業しやすいというブランドに惹かれて移住した起業家

- 2年前～ 東京の中堅IT企業で働くも、実力を発揮できない会社システムに疑問を感じる。
- 1ヶ月前 有給休暇を使い、起業ツーリズムの広告をみて、参加してみる。この地で起業している人々の話に共感しハマっていく。
- 1年目 起業地としてブランド力があり起業する人が多く支援も厚く、しかも週末は趣味のマリンスポーツができるこの地に移住し起業することを決断する。安価で住宅を借りることができ、ILCの審査に通り、出雲ファンドを利用できることになる。周りの起業家の助けも借りつつ事業を始める。
- 3年目 Creativeな起業家仲間に、ビジネスノウハウのアドバイスなどの支援を受ける。事業を気に入ってもらえることができ、出資し支援してもらう。
- 10年目 事業が軌道に乗り出し、地元の人を雇用する。
- 20年目 会社が大きくなり、広島に本社を移転することを決断。この企業は成功事例として、新しく多くの起業家を引き寄せることに貢献。

⇒サイクルの継続・ブランド力の向上

観光客

一日目
(出雲) 出雲空港に降り立つ。
出雲大社、出雲歴史博物館で歴史を感じる。



三日目
(松江) 松江城であっぱれくんに癒される。
MMOCCでCalligraphy&Craftsを堪能し、無名アーティストの押しメンを発掘する。
押しメンのCrafts作品を購入する。



五日目
六日目
(中海
アート圏) 島根県立美術館、水木しげるロード、足立美術館、米子のYMOPF、
植田正治写真美術館と中海アート圏のartを堪能する。
安来では、ちょうど、まちなかに市民が繰り出す安来おどりまつりが
あり、そのパワーに圧倒される。

七日目
(大山) 大山に登り自然を満喫する。
農家で体験型宿泊(農泊)を体験し、酒利き、
伝統芸能を堪能する。

⇒中にはハマって定住を考える人も...?



地元住民(女性)

幼稚園 幼稚園帰りに、母親が仕事から帰ってくるまでは近所のアーティストの自宅や個展場で面倒をみてもらう。

小学生 地元のアーティストと連携したアート体験学習など。

学生 高等教育機関で、起業学習(学生でミニ起業)や、就業体験を通じリアルなビジネス体験。

20~
30歳 地元で結婚。子供ができる。

週3日

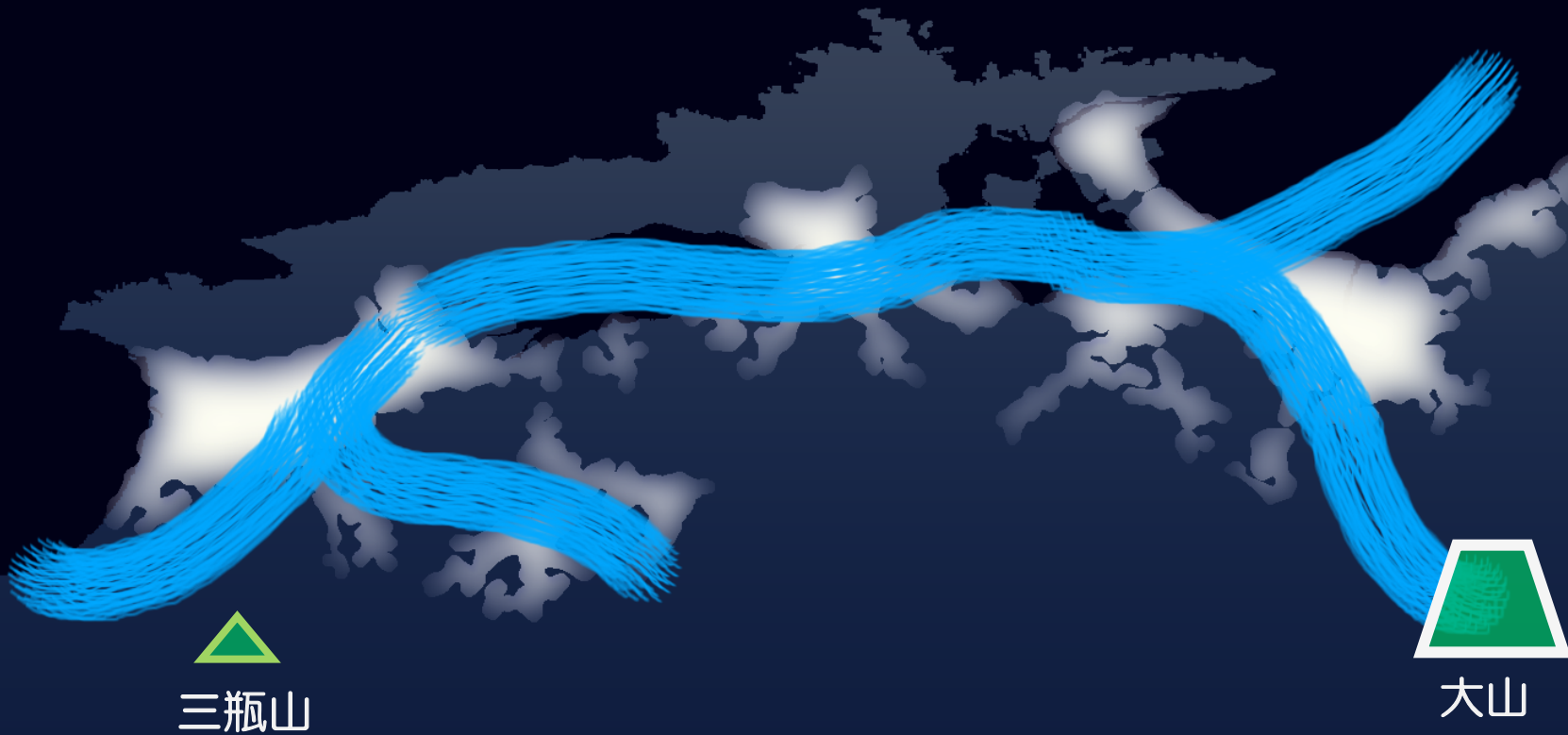
週2日

移住者支援のNPOのメンバーとして活動し、報酬は生活費の一部となる。
仕事が終わると、アーティストの自宅や個展場に預けた子供を迎えに行く。

・感性の高い観光客向けの地産地消レストランを地元の友人と日替わり起業として共同事業をILCに認定され、出雲ファンドから開業資金をえる。
・製品開発や販路開拓など、近所の企業からビジネスノウハウを支援してもらう。

⇒Creativeな人が転入してくることで、地域も地元住民も活性化していくサイクル

6. 現状分析編



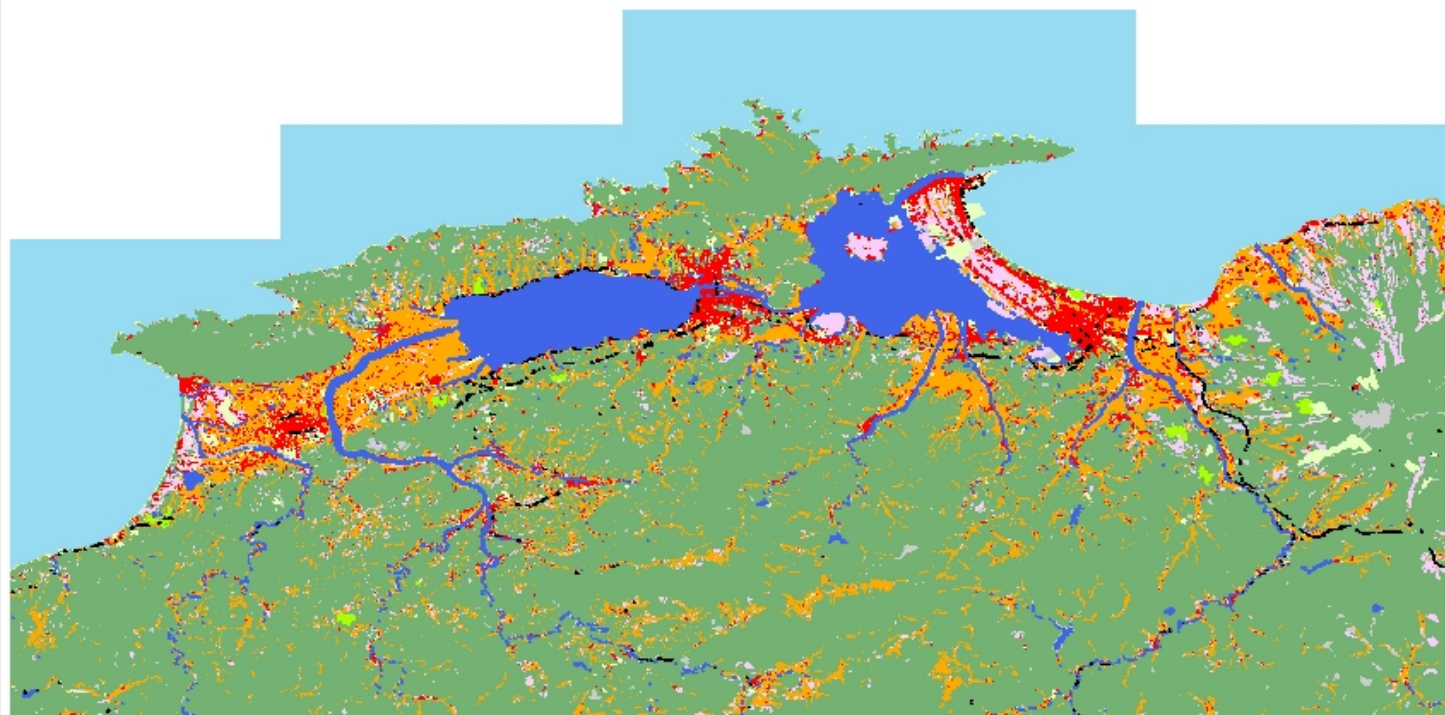
▲
三瓶山

▲
大山

生態系サービス圏の分析

土地利用

土地利用 (100mメッシュ)



土地利用種

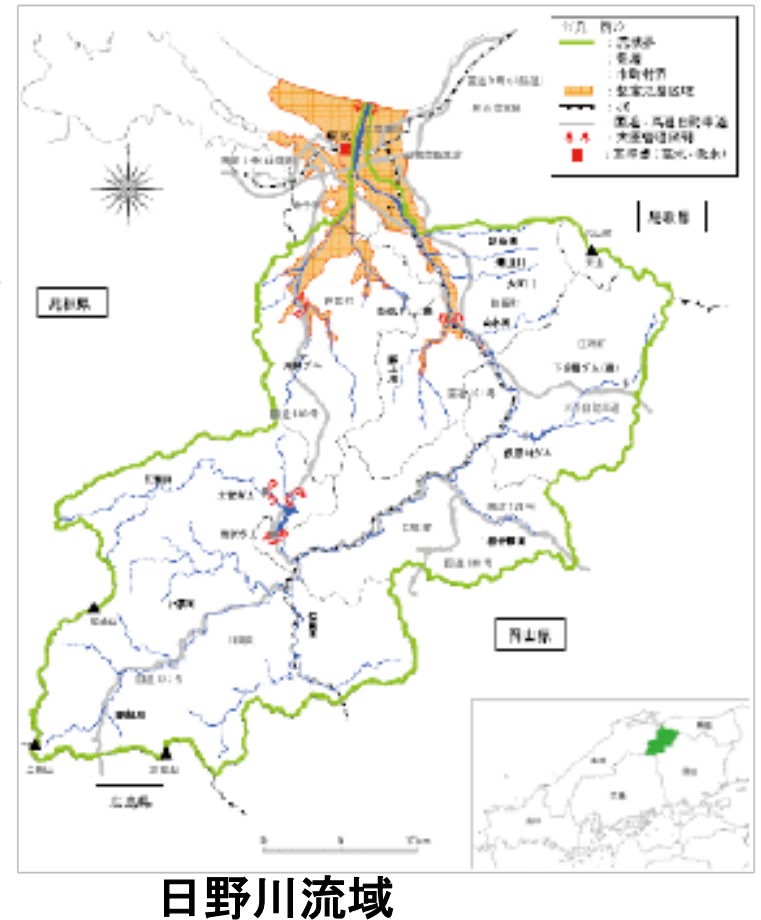
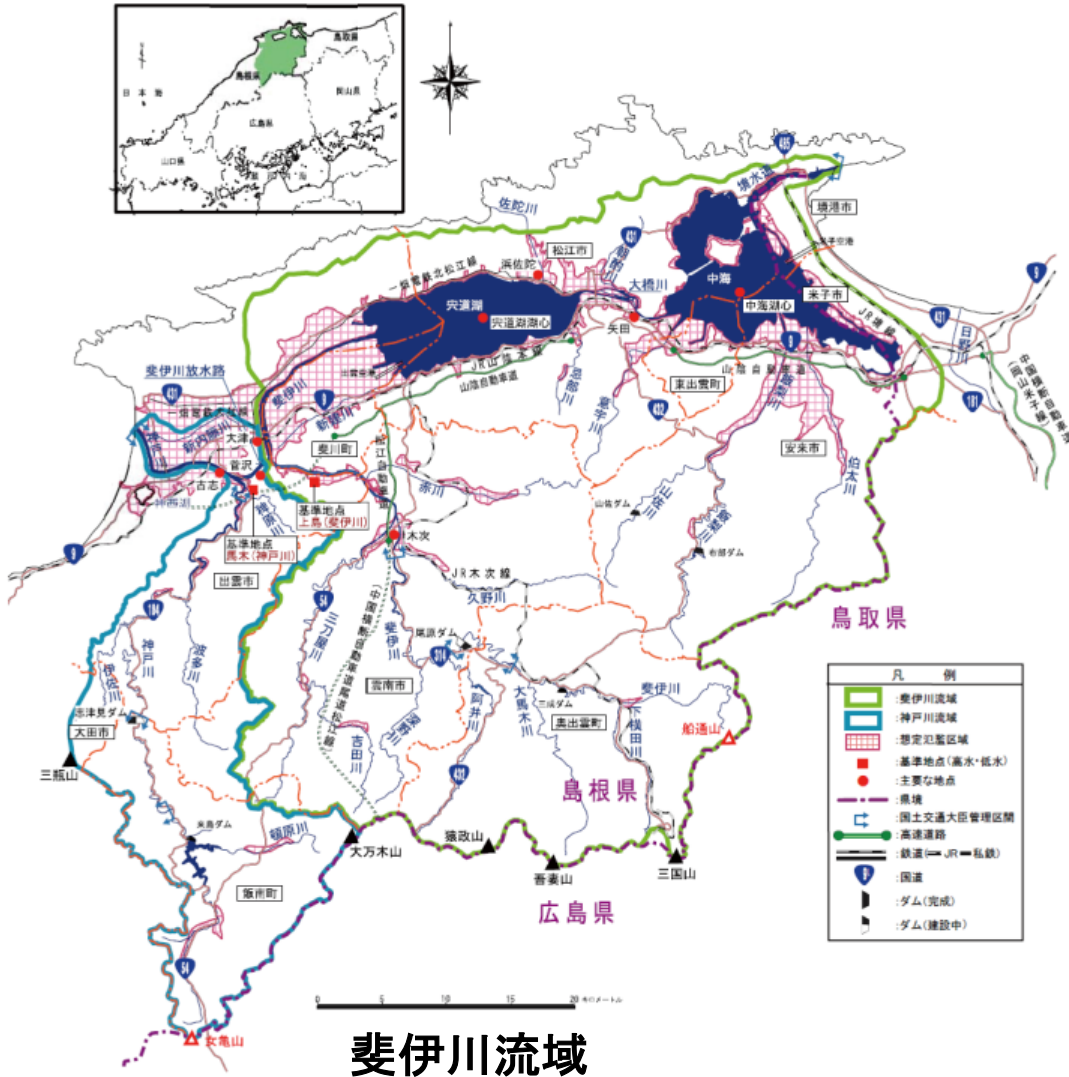
- 田
- その他の農用地
- 森林
- 荒地
- 建物用地
- 幹線交通用地
- その他の用地
- 河川地及び湖沼
- 海浜
- 海水域
- ゴルフ場



- ・山・水に囲まれた限られた平野部
- ・一定規模の農用地
- ・中山間地域の存在

0 4.5 9 18 Kilometers

现状分析 流域圈



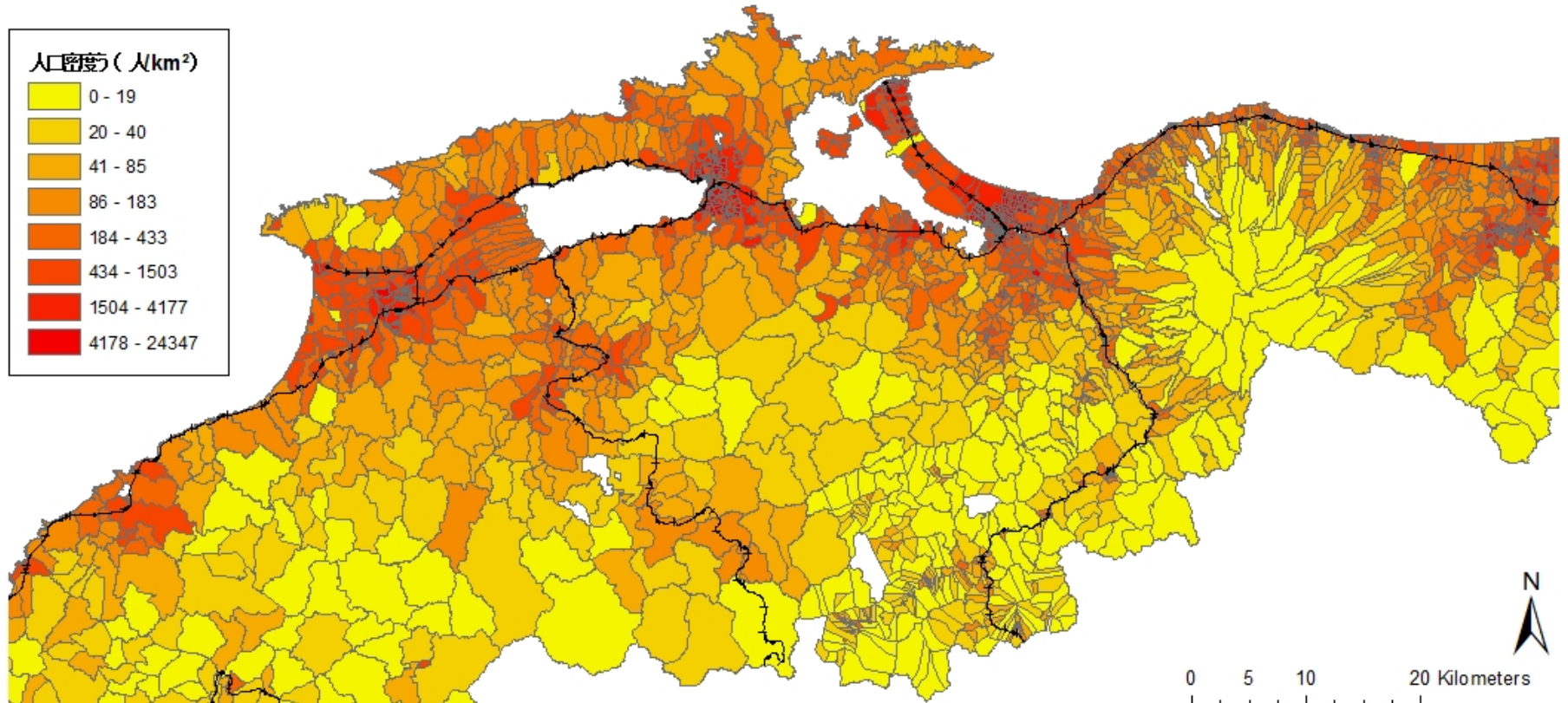
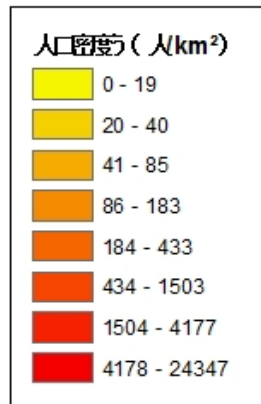
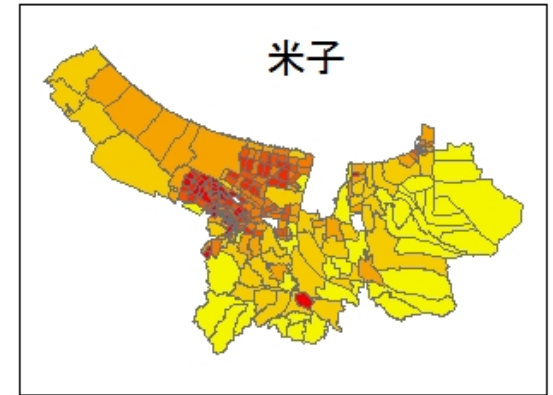
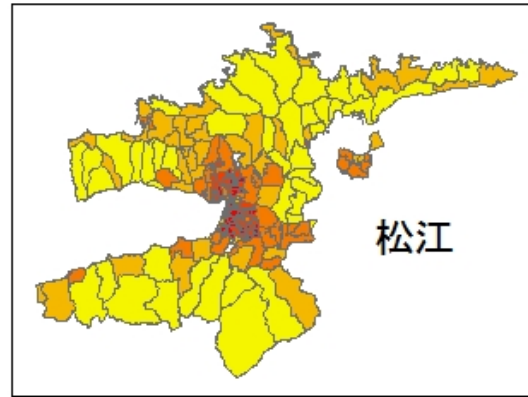
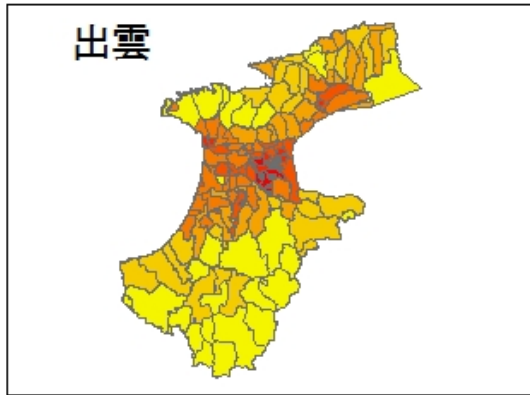
左図出典:国土交通省中国地方整備局「斐伊川河川整備計画」 <http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/sakai/airport/mihogaiyou.php> (2010年11月17日閲覧)
 右図出典:国土交通省中国地方整備局「日野川河川整備計画」 http://www.mlit.go.jp/river/basic_info/jigyuo_keikaku/gaiyou/seibi/pdf/hinogawa71-5.pdf (2010年11月17日閲覧)

生態系サービス圏

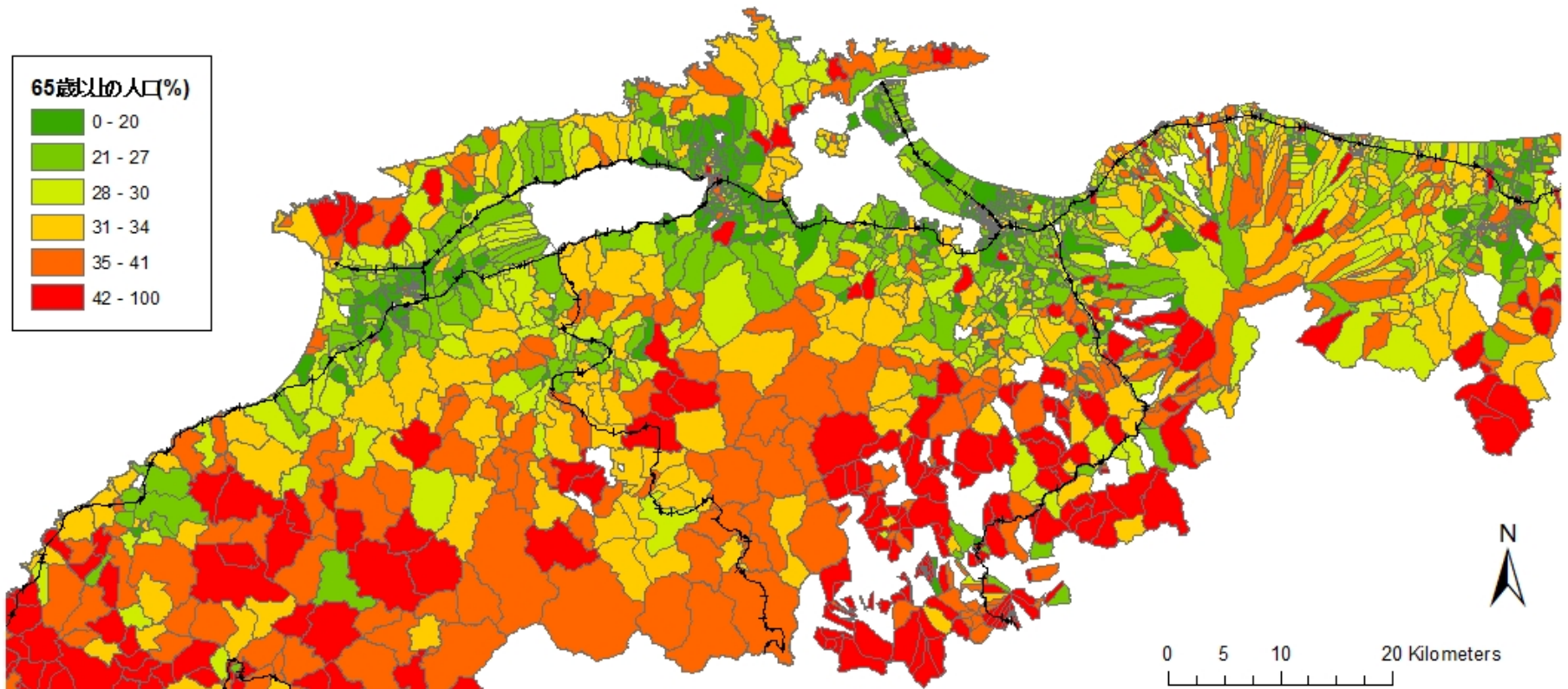
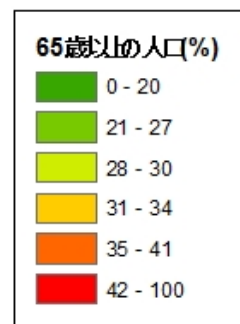
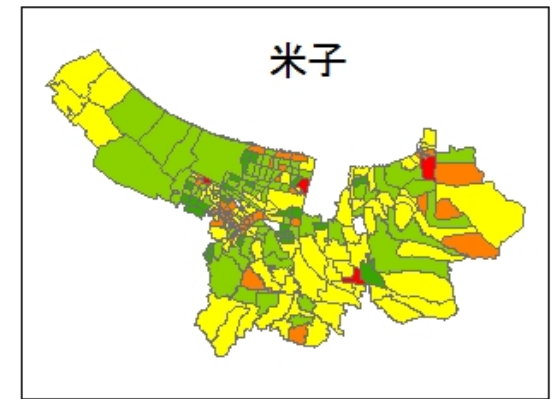
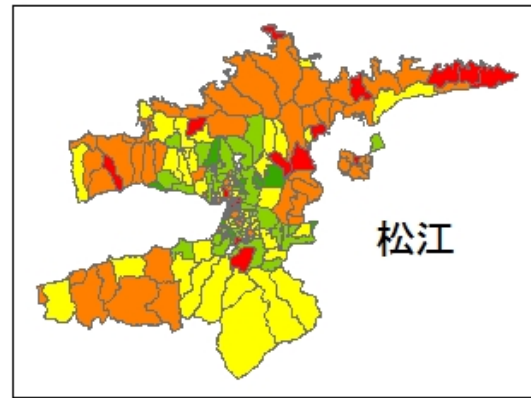
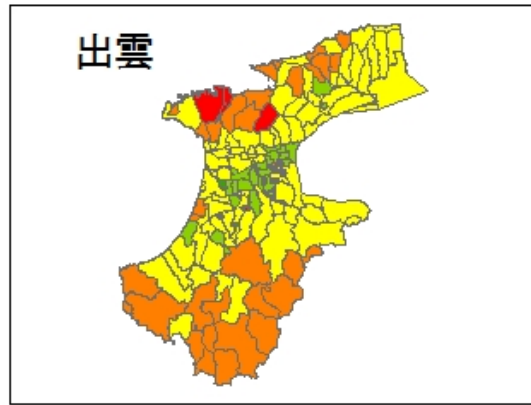


広域サービス圏の分析

人口密度(社会構造-1)

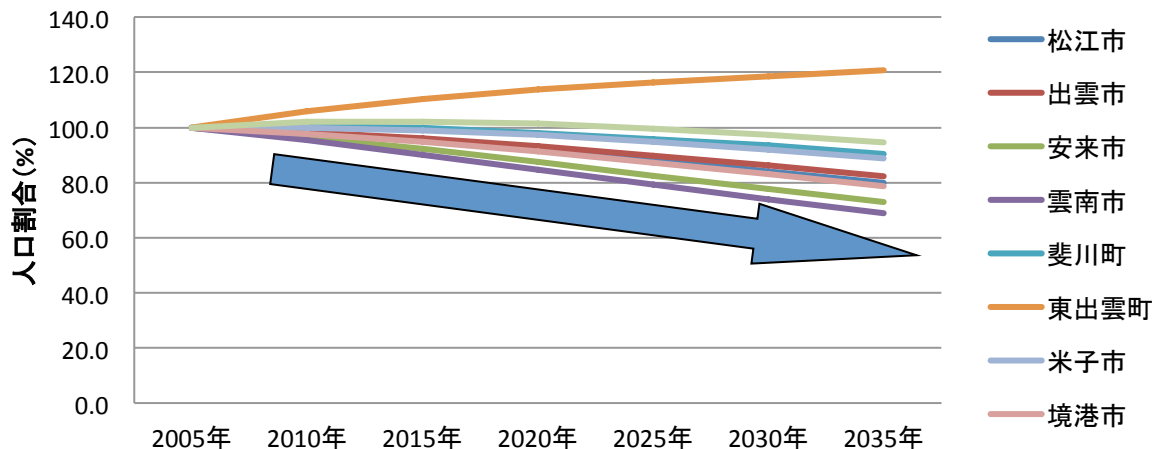


高齢化率(社会構造-2)



社会構造（人口構造）

将来人口（割合・2005年=100）



全体的傾向

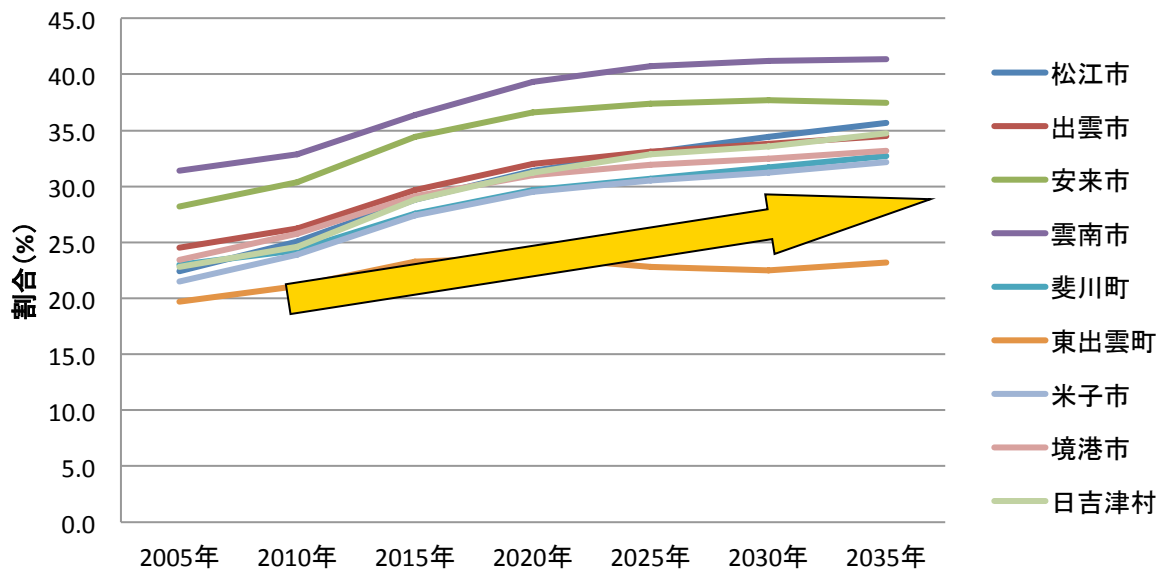
・人口減少

(1~2割減)

・高齢化の進展

(30~40%)

高齢化率

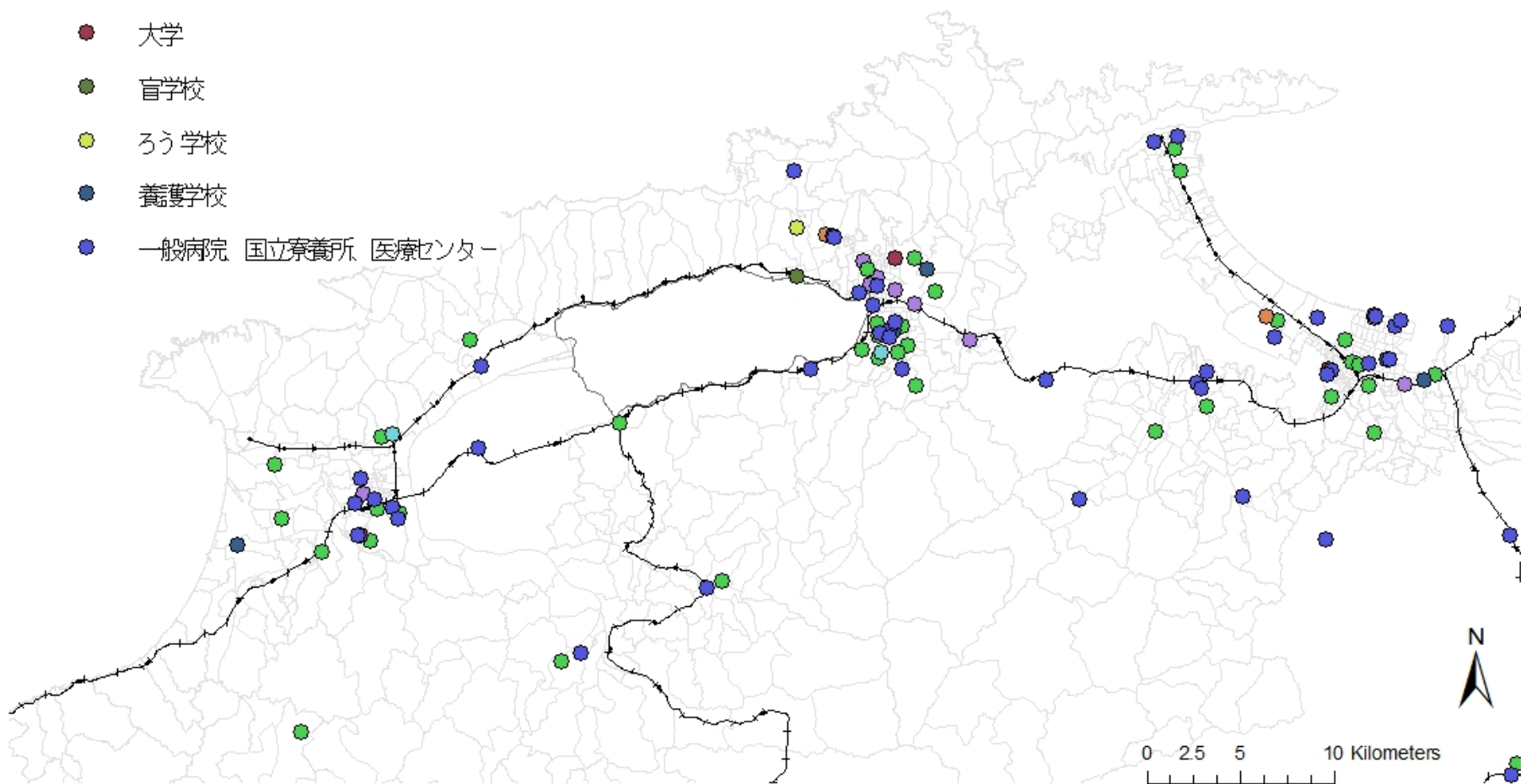


人口減少・高齢化は
絶対的にマイナス？

教育施設・医療施設

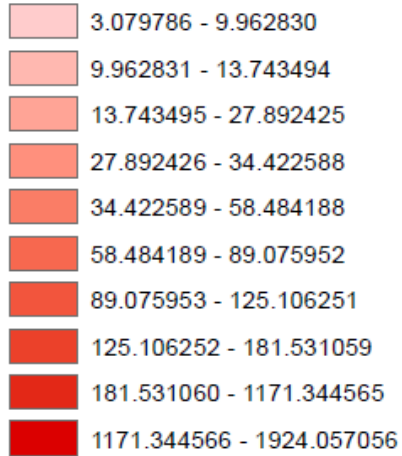
施設分類

- 独立行政法人・大学共同利用機関法人
- 高等学校
- 高等専門学校
- 短期大学
- 大学
- 盲学校
- ろう学校
- 養護学校
- 一般病院 国立療養所 医療センター



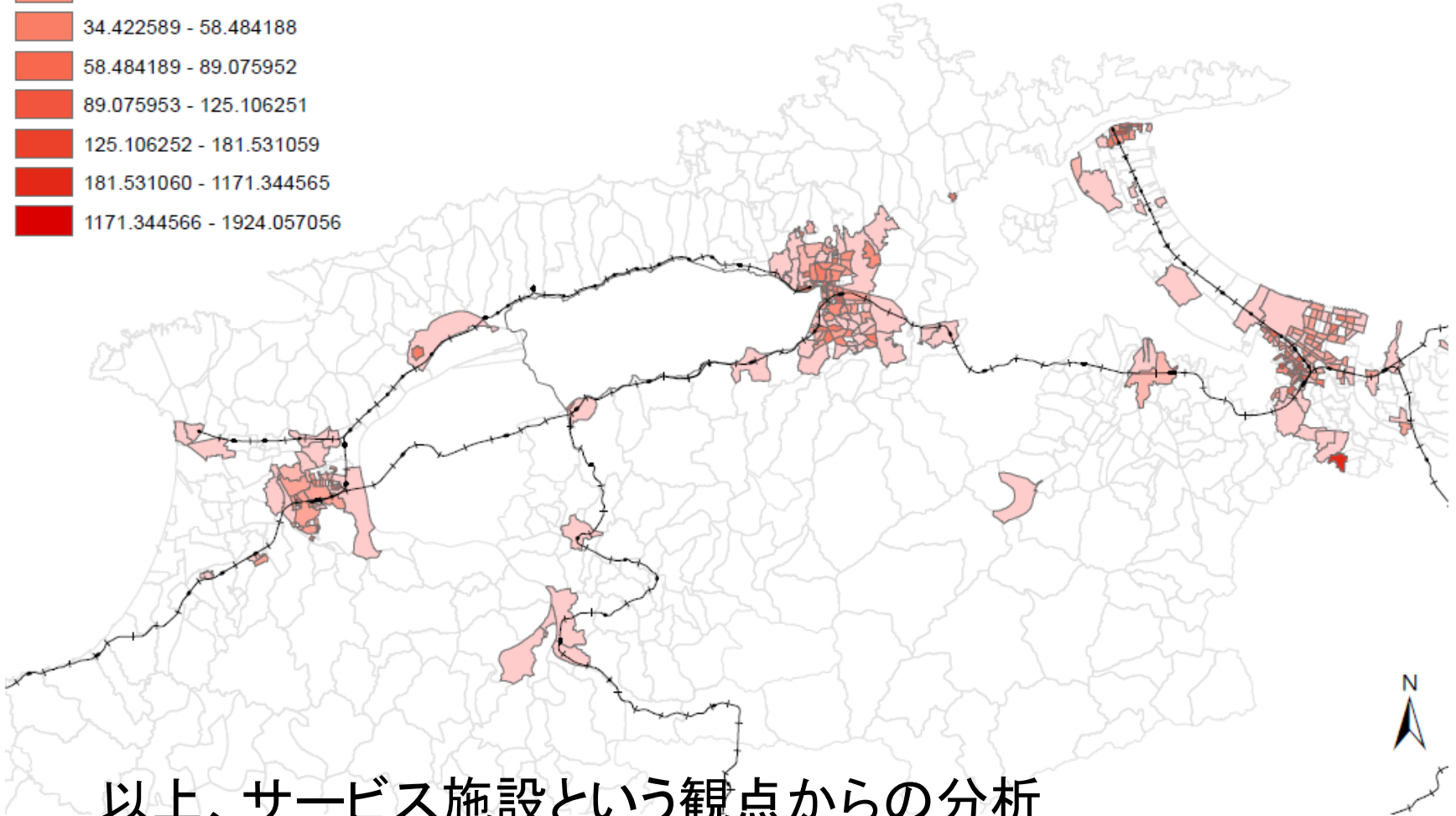
医療福祉施設分布(広域サービス)

□ / km²



0 1.5 3 6 Kilometers
|-----|-----|-----|-----|

医療・福祉



以上、サービス施設という観点からの分析

現状分析 広域交通ネットワーク



高速道路網

(参考)

・米子→岡山

鉄道: 2時間13分(2520円)

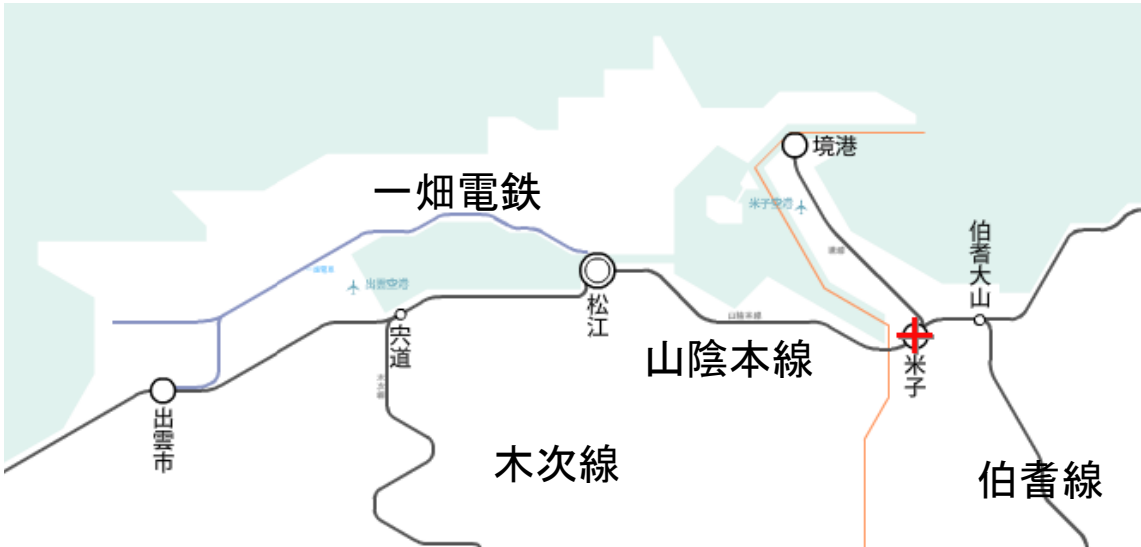
自動車: 2時間22分(2450円)

・米子→広島

鉄道: 2時間54分(4940円)

(岡山から新幹線)

自動車: 4時間2分(5750円)



鉄道網

高速道路、鉄道ともに全国的にみて整備が進んだ地域ではなく、山陽地域と比較してもそれはよくわかる。

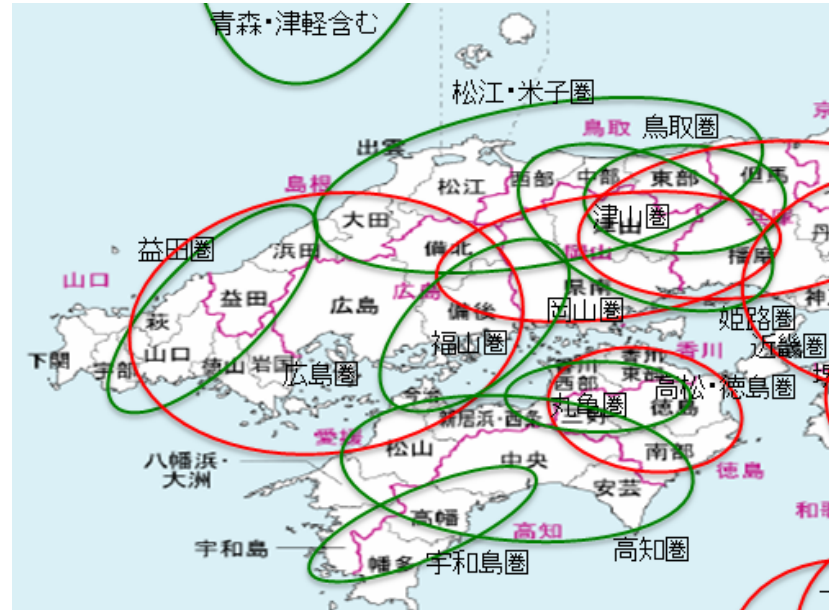
また、鉄道についても本数を見ると、利便性が高いとはいえず、自動車中心の社会になっていると考えられる。

広域サービス

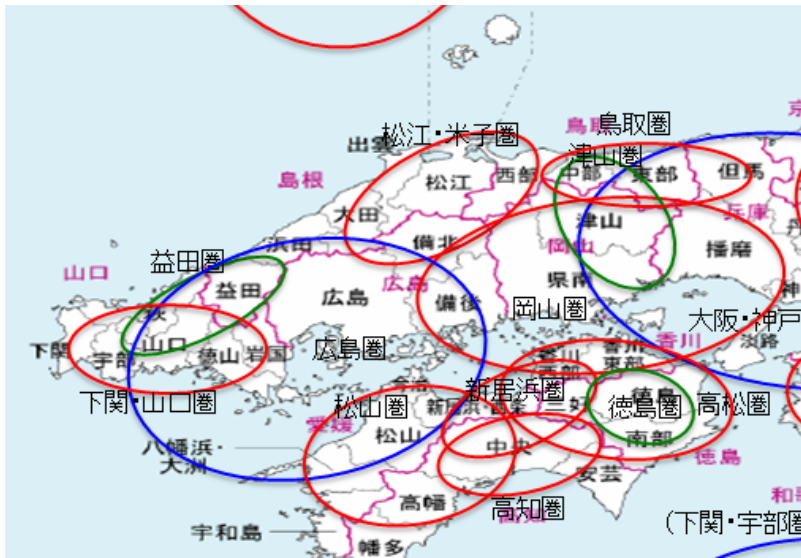
地域生活圏別の旅客流動に基づく県境を越える動き

平日・仕事

休日・観光(含商業)



休日・私用(帰省等)



- ・あらゆる場面での島根県鳥取県間の移動
- ・広島圏域、岡山圏域の広域性

※『全国幹線旅客純流動調査』=航空、新幹線等の鉄道、幹線旅客船、幹線バス、乗用車等の幹線交通機関を利用して都道府県を越える旅客流動を旅客一人一人に着目し、乗り継ぎを含め実際の出発地から目的地まで、一連の流動を把握した全国規模の調査、に基づいて分析したものである。

地域ノーベーション圏の分析

出雲広域都市圏の地域イノベーション力

	広域都市圏 人口 国調2005	研究開発力			人口千人当り 発明者数	産業集積			産業 クラスター	2006平均県民 所得(千円)	圏域中心都市			屋間人口 国調2005
		科学技術者 特化度	大学・高専 施設数	学協会 数		一部上場 企業数2010	製造業生産性 万円/人	産業多様性 1/HHI			文化・にぎわい指標 公益文化 商業文化 にぎわい			
首都圏	41,637,290	1.44	214	820	9.54	1046	1042.21	97.50	情報:6	3,584	100.0	100.0	100.0	6,532,306
近畿圏	19,894,971	0.90	90	133	7.08	329	1135.20	106.48	繊維:5	2,986	33.9	33.3	57.0	3,581,675
名古屋圏	11,150,493	1.01	56	26	6.68	99	1362.60	82.37	自動車:13・繊維:5	3,335	41.2	23.2	30.9	2,516,196
福岡圏	6,706,067	0.63	55	25	1.47	36	1043.32	87.48	鉄鋼:3	2,629	20.4	11.7	21.9	1,571,184
仙台圏	4,985,081	0.69	28	18	1.25	19	1104.91	95.06	精密機械:5	2,643	13.5	4.9	10.9	1,098,981
東海圏	4,833,080	1.03	32	6	5.48	33	1447.09	69.66	自動車:9・製紙:3	3,389	16.3	4.2	8.1	727,210
長野・甲府圏	3,729,433	0.92	39	10	6.59	19	1110.59	92.67	精密機械:10	2,784	21.0	3.2	4.0	396,153
北陸圏	3,085,997	0.88	21	7	1.96	25	1093.22	104.92	繊維:10	2,883	16.4	4.4	6.8	493,849
岡山・福山圏	2,937,823	0.67	15	6	1.55	8	1415.11	99.26	化学:3	2,800	12.7	5.8	7.7	710,875
札幌圏	2,861,864	0.82	11	7	0.47	8	947.47	81.20		2,463	20.3	9.7	19.1	1,893,946
広島圏	2,471,823	0.93	17	5	3.65	13	1343.72	94.01	自動車:4	3,095	9.3	6.7	13.4	1,174,401
新潟圏	2,401,564	0.75	15	5	1.62	31	955.83	102.18	繊維:3	2,734	13.6	3.0	7.2	800,629
高松・徳島圏	1,884,377	0.66	12	5	1.55	11	1184.17	99.33		2,707	12.4	1.7	5.1	374,199
松山圏	1,221,566	0.65	6	0	4.30	6	1041.71	93.79	船舶4	2,487	8.3	2.7	7.9	525,208
那覇圏	1,208,259	0.53	5	3	0.23	4	522.10	73.15		2,089	2.3	5.1	9.3	345,577
鹿児島圏	1,118,772	0.49	11	1	0.94	1	854.69	72.29		2,283	11.5	2.8	8.3	616,201
高知圏	1,081,647	0.70	7	0	0.61	1	1220.45	79.65		2,170	10.9	2.9	6.6	347,888
盛岡圏	1,070,598	0.57	10	2	0.54	3	823.13	88.56		2,346	8.6	1.6	3.5	304,418
大分圏	1,036,880	0.59	8	0	0.59	1	1818.85	84.89		2,594	4.9	1.9	4.3	473,094
青森・弘前圏	916,423	0.42	9	1	0.32	3	633.87	83.43		2,443	4.6	1.4	2.8	317,006
宮崎圏	886,799	0.57	10	2	0.64	2	708.03	80.09		2,150	3.5	3.3	5.0	324,920
長崎圏	823,378	0.59	5	2	0.91	1	1085.18	77.89		2,159	5.5	1.5	4.7	457,149
秋田圏	743,147	0.54	3	1	0.58	1	654.60	86.45		2,334	8.0	1.3	2.9	349,635
松江・米子圏	661,905	0.66	7	1	1.20	1	759.41	92.73		2,437	5.2	1.0	2.1	205,457
旭川圏	597,990	0.45	0	0	0.47	0	604.97	74.06		2,463	6.0	1.8	4.2	354,162
佐世保圏	570,144	0.44	2	3	0.41	0	830.43	68.49		2,159	2.6	0.6	2.1	252,804
函館圏	510,144	0.44	2	3	0.41	0	830.43	68.49		2,463	8.8	0.7	4.3	303,878
鳥取圏	282,461	0.67	1	3	1.76	2	955.82	78.64		2,422	9.0	1.3	1.9	209,338
全国計	127767994				5.69		1125.40			3,069				

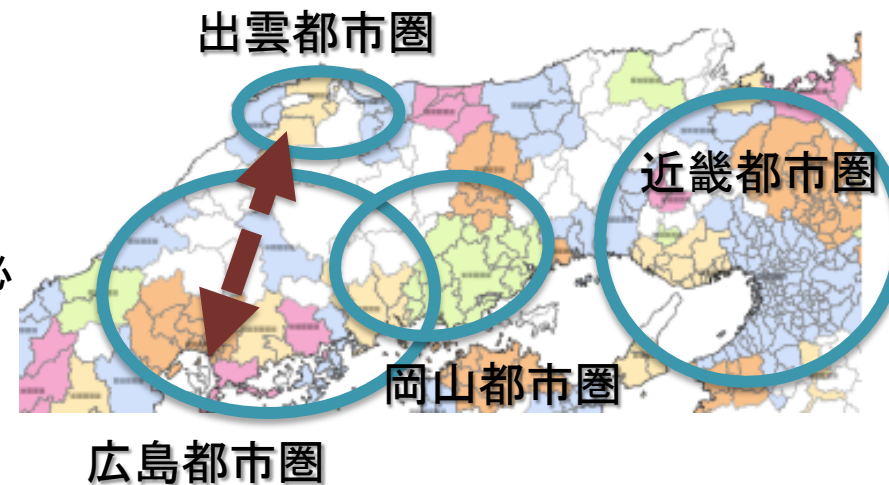
弱み: 集積の規模 強み: 科学技術基盤 強み: 多様性

出雲広域都市圏の強みと弱みを捉える

- 強み: 行政界を超えることで顕在化する隠れた資源
 - 独自の歴史・文化・自然に支えられたマイクロコスモス
 - アジア・世界にアピールできる出雲文化圏
 - ✓ 一体としての観光資源
 - 出雲圏のもつ独特な感性
 - ✓ 新しい発想を生み出す可能性
 - ✓ 創造的人材を引き寄せる魅力
 - それぞれに個性をもった都市群の存在
 - それぞれの都市の個性を際立たせることで圏域全体の多様性と魅力が増す
 - 集積度の高い知的資源
 - 島根大、米子高専、鳥取大医学部、松江高専の連携

出雲広域都市圏の強みと弱みを捉える

- 弱み: 自立的広域都市圏としては人口集積が不足
 - 他圏域との連携強化が生命線となる
 - 羽田、世界へのネットワークの強化
 - ✓ 高い航空運賃がネック
 - ✓ 米子空港と出雲空港を統廃合し、効率化を図ると同時に、複数航空会社の競争を促すことを検討することも必要ではないか。
 - 中国地方の中核都市である広島との連携の強化
 - ✓ 広島と直接結ぶ高速道路の必要性
 - 圏域内での県境を超えた交通インフラの拡充
 - ✓ 県境を超えた公共交通水上交通、自転車道路による緊密なネットワーク化



歴史・文化資源の分析

一外界との交流の中での出雲

圏



「対馬海流」
人的・物的交流

- 対馬海流
 - 一海流によって伝搬する歴史・文化（中国沿岸部、朝鮮半島を中心とするユーラシア大陸文化）
 - 一地理的な好条件（突き出た島根半島・丹後半島、目印となる三瓶山・大山）による、文化の十字路としての出雲圏
 - 一出雲国の発展→外との活発な交流の可能性

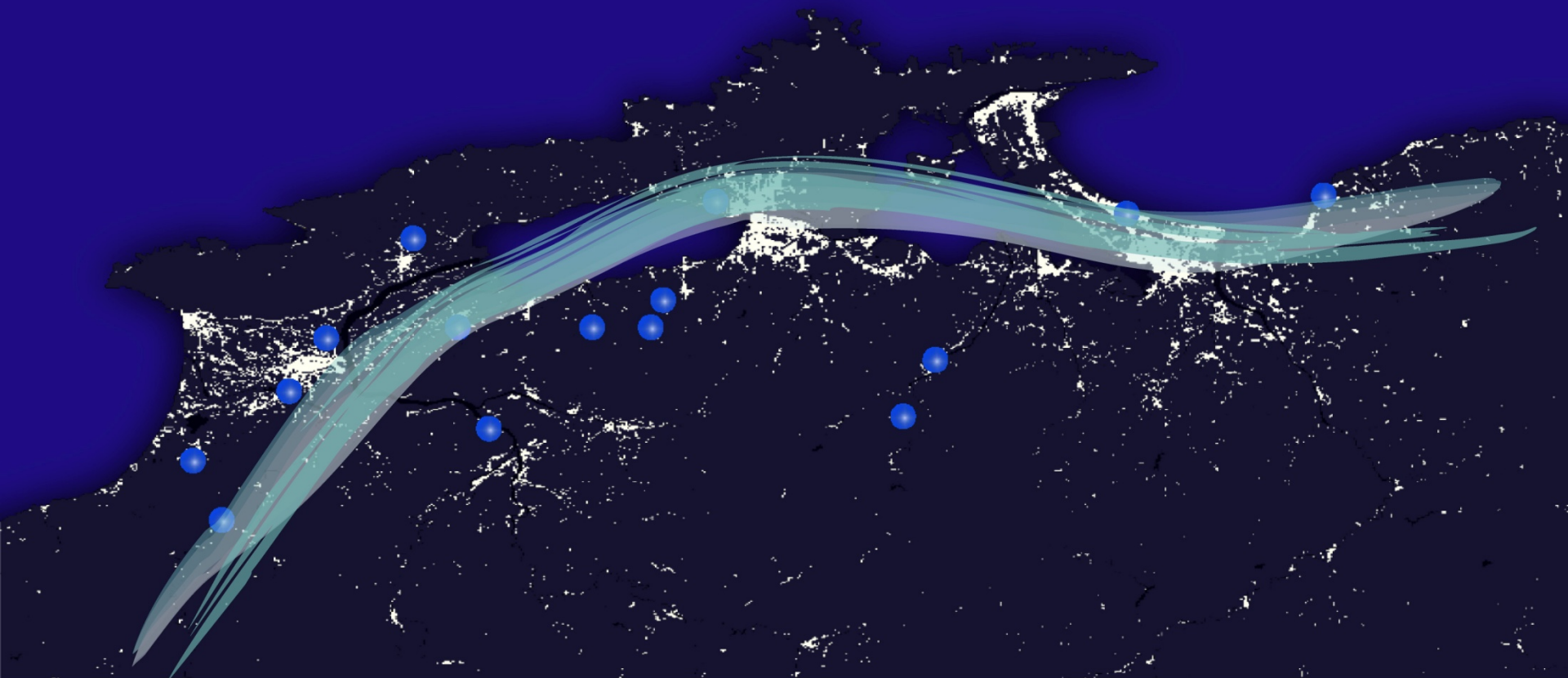
出雲圏域の広域的・歴史的な文脈

—外との交流の中での出雲圏



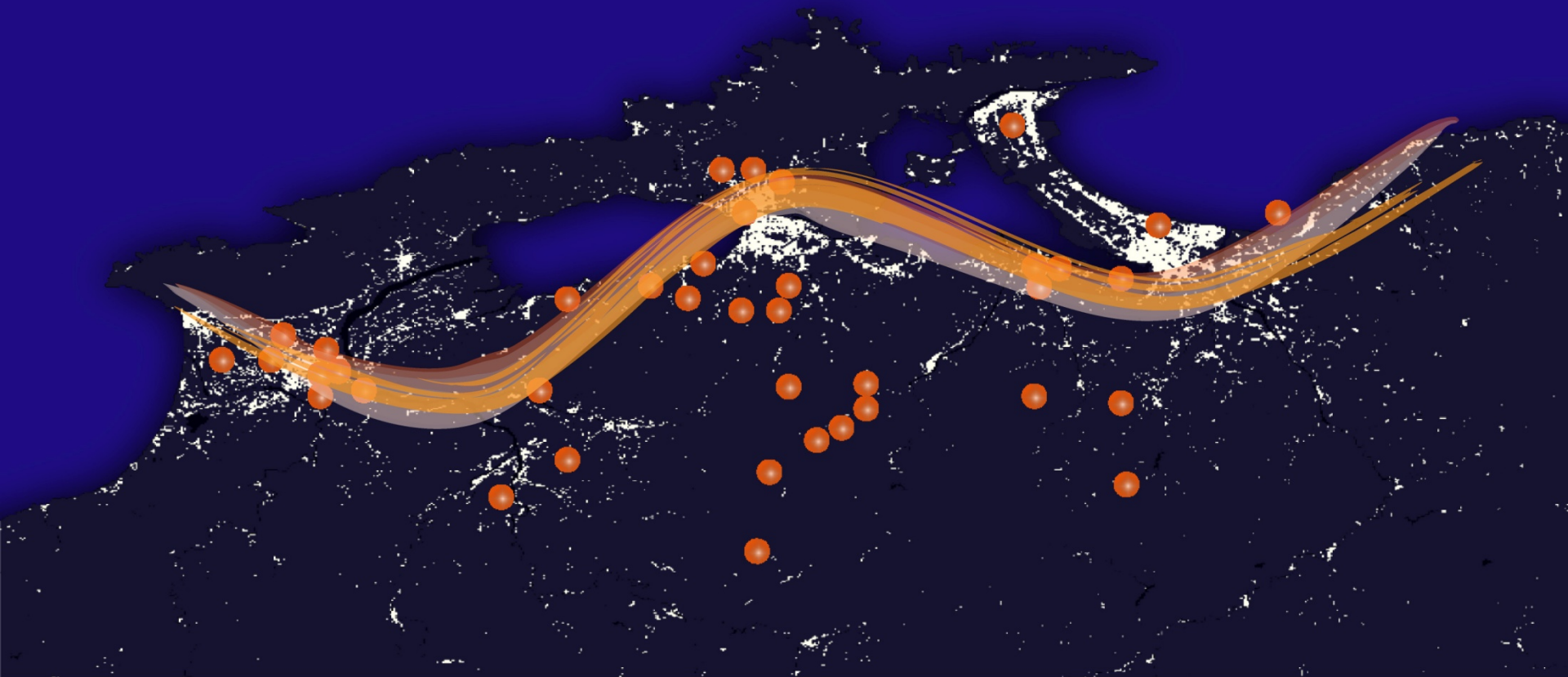
- 古代
 - 出雲国：出雲市～米子市あたりを中心に支配
 - 日本海における宗教国家を形成。九州や関東といった日本の他地域に加え、楽浪郡や任那といった大陸側との活発な交流もみられる。
 - 出雲圏という確固たる歴史的なまとまり
- 中世
 - 多くの大名が代わる代わる支配。この頃より中国地方内の交流が始まったとされる。
- 近世以降
 - 藩の中心として城下町が整備され、松江が発展

水



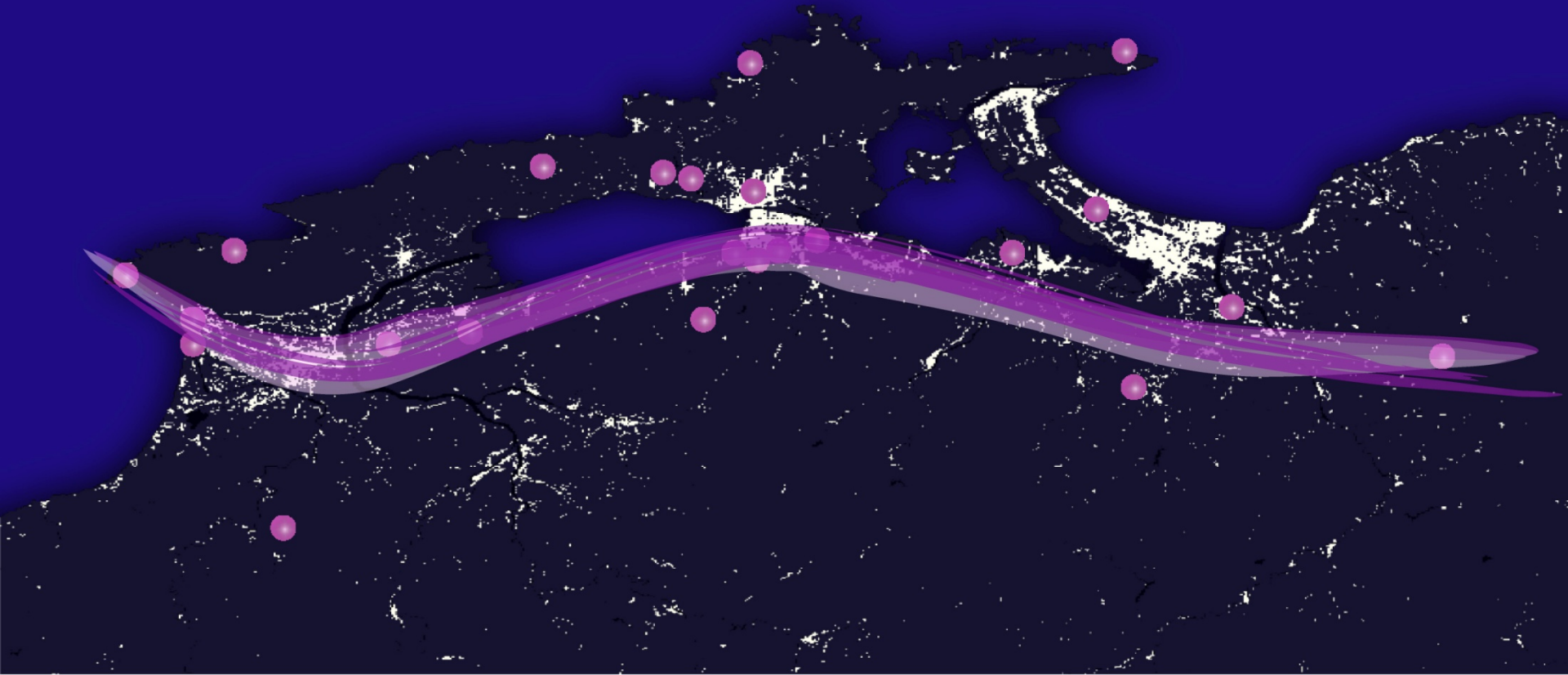
- 歴史的・文化的・経済的に重要な水

アート



- 各時代のアート
- 無形・有形の文化財（伝統工芸など）

神話



- 歴史・文化を伝える神話にちなんだ場所や行事、風習、技術

ご清聴



ありがとうございました！！